

2025年2月10日

各位

会社名 株式会社メタプラネット
代表者名 代表取締役社長 サイモン・ゲロヴィッチ
(スタンダードコード: 3350)
問合せ先 IR部長 中川 美貴
電話番号 03-6772-3696

営業外収益、営業外費用及び特別利益の計上、及び通期業績値と前年実績値、
及び通期実績値と予想値並びに前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年12月期第4四半期連結決算において、営業外収益、営業外費用及び特別利益を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、2024年12月18日に2024年通期(2024年1月1日~2024年12月31日)の業績予想を発表いたしました。本日開示しました実績値との差異についても、合わせて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

当社は、2024年12月期第4四半期連結累計期間において、ビットコイン評価益5,457,619千円及びその他収益193,202千円を営業外収益に計上いたしました。

ビットコイン評価益は、当社が保有するビットコインを2024年12月期第4四半期末時点での市場価格で評価替えを行ったことにより発生したものであります。

また、その他収益は、米国ドル建ての預け金等の保有による為替レートの変動を受けた為替差益が主なものであります。

2. 営業外費用の計上

当社は、2024年12月期第4四半期連結累計期間において、株式交付費償却6,429千円及び支払利息1,602千円を営業外費用に計上いたしました。支払利息1,602千円のうち1,561千円が社債に係る利息分として当連結会計年度第4四半期で発生したものであります。

3. 特別利益の計上

当社は、2024年12月期第4四半期連結累計期間において、債務免除益400,591千円を特別利益に計上いたしました。当該免除益は、2024年5月28日付で実施した当社連結子会社であった株式会社レッド・プラネット・ホテルズ・ジャパンの破産手続開始の申立てに伴う会社清算により発生したものであります。

4. 2024年12月期通期連結業績における予想値と実績値の差異

(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2024年度予想値 (A)	890	270
2024年度実績値 (B)	1,062	350
増減額 (B-A)	172	80
増減率 (B-A) / A	19.3%	29.6%

差異の理由

当期売上高については、ホテルロイヤルオーク五反田が好調で370百万円を計上したことに加え、ビットコインインカム事業において128百万円の追加の収入を年度末に行った取引より得たことにより総額で691百万円を計上できたことから、前回予想値より19.3%の増額となりました。

営業利益については、利益率の高いビットコインインカム事業からの収益が上乘せされたことにより、前回予想値より29.6%の増額となりました。

5. 当期2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)と前期2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の前年度対比実績値の差異について

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
2023年度実績値 (A)	261	△468	△414	△683
2024年度実績値 (B)	1,062	350	5,993	6,397
増減額 (B-A)	801	818	6,407	7,080
増減率 (B-A) / A	306%	—%	—%	—%

差異の理由

当期売上高については、当期から開始した新規事業であるビットコイントレジャーリー事業691百万円、ホテル事業370百万円となり、総額売上高1,062百万円を計上できたことから、前年より306%の増額となりました。

営業利益については、当期から開始した新規事業であるビットコイントレジャーリー事業が貢献し、営業利益350百万円を計上できました。

経常利益については、ビットコイン評価益5,457百万円を計上したため、経常利益が増え、5,993百万円を計上できました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益に債務免除益400百万円を計上したため、6,397百万円となりました。

6. 次期業績予想

2025年12月期通期連結業績予想数値

(2025年1月1日～2025年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2024年度実績値 (A)	1,062	350
2025年度予想値 (B)	3,400	2,500
増減額 (B-A)	2,338	2,150
増減率 (B-A) / A	220.1%	614.3%

(注) 当社は、本日時点でビットコインを1,761.98枚保有しておりますが、2025年12月31日時点でのビットコインの価格を予想することは困難なため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想の開示は差し控えます。

予想値の根拠

売上高、営業利益ともに、2025年度はビットコインインカム事業において通期で取引をおこなうことによる大幅な増額を想定しております。具体的には、売上高34億円のうち30億円をビットコインインカム事業で、4億円をホテル事業で見込んでおり、営業利益についてはビットコインインカム事業で29億円、ホテル事業で1億円、そして人員の増加やマーケティング活動の出費に伴って1億円ほど増加する販管費等5億円を差し引いた、連結営業利益25億円を予想しております。

以上